

令和5年生駒市教育委員会第8回定例会会議録

1 日 時 令和5年8月28日(月) 午前9時30分～午前10時59分

2 場 所 生駒市役所 大会議室

3 審査事項

- (1) 報告第12号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について
- (2) 議案第25号 壱分幼稚園の認定こども園整備に関する基本計画の策定について
- (3) 議案第26号 生駒市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則の制定について
- (4) 議案第27号 令和5年生駒市議会第4回(9月)定例会提出議案の意見について
- (5) 議案第23号 令和5年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

4 教育委員会出席者

教育長	原 井 葉 子		
委 員 (教育長職務代理者)	飯 島 敏 文	委 員	神 澤 創
委 員	レイノルズあい	委 員	伊 藤 智 子
委 員	古 島 尚 弥	委 員	中 川 義 三
委 員	吉 尾 典 子		

5 事務局職員出席者

教育こども部長	鋤 田 明 年	生涯学習部長	八 重 史 子
教育こども部次長	松 田 悟	教育総務課長	山 本 英 樹
教育総務課課長	松 本 芳 樹	教育指導課長	花 山 浩 一
幼保こども園課長	大 畑 勝 士	幼保こども園課指導主事	喜 多 美 枝 子
幼保こども園課指導主事	湯 川 祐 美 子	こども総務課長	武 元 一 真
子育て支援総合センター所長	角 井 智 穂	生涯学習課長	清 水 紀 子
図書館長	西 野 貴 子	図書館課課長	錦 好 見
スポーツ振興課長	西 政 仁	教育総務課課長補佐	桐 坂 昇 司
教育指導課課長補佐	中 田 博 久	教育政策室長	日 高 興 人
幼保こども園課課長補佐	小 林 奈 津 子	こどもサポートセンター所長	若 狹 美 登 里
生駒駅前図書室長	入 井 知 子	教育政策室	杉 山 史 哲
教育総務課(書記)	佐 竹 裕 介	教育総務課(書記)	吉 川 優 香

6 傍聴者 5名

午前9時30分 開会

○開会宣告

○日程第1 前々回及び前回会議録の承認

○日程第2 教育長報告

○日程第3 報告第12号 令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について

・令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、花山教育指導課長から説明

<参照：議案書p1、別冊1>

(質疑)

伊藤委員：今回は「学校に行くのが楽しい」や「普段の生活で幸せな気持ちになる」等の自己肯定感に関わる問いや、友達関係に関する問いの回答が前年度より良くなっている。子どもたちの心の状態が良いようで、ひとまず安心した。一方で以前からの課題である自分の考えをまとめることや自分の考えを深めたり広げたりする部分は弱い。全国的にも弱いところではあるが、上手くいっている事例の調査や、研修を行う等で改善してほしい。また、英語について、「家庭学習においてPCタブレットなどでリスニングやスピーキングをやっているかどうか」という問いに対し、全国的ではあるが生駒市も低いようだ。生駒市の特徴として、積極的に取り組んでも良いと思う。最後に数学については好きな子どもが多いようで、上手くいっていると感じた。

中川委員：学力や生活面での向上が見られる。先生方の頑張りだと思う。また、読書について、学校での取組は様々あるかと思うが、それを地域にも広げられると良い。また、英語を好きになってもらえるように前向きな取り組みができればと思う。

古島委員：自己肯定感に関する問いの回答が良い傾向にある。この結果の理由は推測できるか。具体的な取組があれば知りたい。

花山課長：ICT端末の導入によって共同編集等の話し合いの活動が増えたことや、教師からの声掛け等が影響しているのではないかと推測している。なお、44ページに修正がある。下から4行目に「中学校で61.5%」とあるが、「57.6%」に修正していただきたい。

原井教育長：自己肯定感を高める取組としては、尾崎さんのキャリア教育も影響しているのではないかと感じる。自分の取り扱い説明書を作成する等の自分の良いところを見つけるという活動をしている。自分の良いところを見つけ、さらにそれを他者と評価し合うことで、自己肯定感や自己有用感が高まっていると感じている。

古島委員：具体的な取組がないとしても、やはり日頃の対応の結果であると思う。子どもたちや先生との対話が増えているということで、今後も引き続き取り組んでほしい。この活動がこの結果に出たというような繋がりをしっかり分析していただき、改善に努めることができるとより良い。

吉尾委員：結果を見て、生駒の子どもたちは真面目で努力家であるが、少し恥ずかしがり屋だというような印象を受けた。子どもたちにはコミュニケーション能力、自分を表現する力を身に付けてほしい。そのためには、先生方の研修や子どもたちとの対話等も非常に重要ではあるが、子どもたち自身の学びたい・知りたいという気持ちや、話したい・聞いてほしいという気持ちを育てることが重要である。この結果を子どもたちにも共有して今後の活動に活かしてほしい。

飯島委員：「いじめはどんなことがあってもダメだと思う。」と回答している子どもが以前より増えている。生駒市がいじめを許さないと掲げ、取り組んでいる結果であると思う。また、英語を話すことについて、全国平均よりは若干高いが、生駒市の他の結果と比べると弱いと思う。21ページの「自分たちの意見について考えるのは楽しいと思いますか」や51ページ「学級活動における話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか」という項目が低い。小学生は特に高学年になるとシャイになっていく傾向がある。意見を持っても発言のタイミングを得られないと上手く話せるようにならないと思う。娘が小学生だった頃、話し合いを取り入れた授業の後の休み時間に、「さっきの発言が良かった」等の感想を話すことで授業の充実感が上がったという話をしていた。楽しさや充実感を子どもたちが感じるように、先生方には話し合い活動の意義を意識していただきたい。事務局から先生方に、英語だけでなく日本語で話すことも意識して取り組んでいただくようお願いしたい。

レイナルズ委員：生駒市として重要視して取り組んでいる部分で良い結果が出ていて喜ばしい。また、今回は4年ぶりに英語が含まれているが、前回と比較すると、項目が増加していたり、内容が深まっていたり、ハードルが上がってきていると感じる。正答率が低かったロボットの問題を見たが、中学3年生の4月時点にしてはなかなか難しいと感じた。この問いに答えられるレベルを求められているのだと意識して、改めて授業していただく必要があると思った。生駒市の結果から、読み書きは強いが考えをまとめることやプレゼンテーション等のアウトプットが弱いと感じる。多くのインプットが求められる中で、アウトプットの時間を取りづらいかと思うが、ICT端末を活用しながら取り組んでほしい。以前、英語のアプリを導入していたかと思うが、現在の取組状況を教えてほしい。

花 山 課 長：英語のアプリは導入していない。全校で導入しているデジタル教科書や生駒南小学校と生駒南中学校で取り入れているＡＩ学習ドリルの中に英語が含まれている。

レノルズ 委員：今は優秀なアプリがたくさんあるので、アウトプットの部分に関してはＩＣＴの活用も積極的に行ってほしい。また、スマホやゲーム、テレビとの付き合い方についての質問事項もあったが、学校生活でのＩＣＴ活用と調査内容が統一されていた。別の生活習慣調査等で、この辺りも定期的に把握ができれば良いと思う。

神 澤 委 員：自己肯定感に関する問いの回答が良かったと意見があるが、前回と比較して数値が上がったかもしれないが絶対値は変わっていないと思う。特に小学校は低い。問４、５、１０で当てはまると答えられるような学校環境が自己肯定感の向上には重要であると思う。子どもがどう受け取るかは分からないが、少なくとも先生方は子どもたちを褒める努力をしてくれていると思う。また先ほどから学習面のレベルが高いという話が出ているが、中には勉強が辛い子もいる。そういった子たちにも手を差し伸べることができれば、より良い結果が出るかと思う。また問１０に関わって、ＳＯＳ研修の今後の展望を聞かせてほしい。

花 山 課 長：現在行っているＳＯＳの出し方や受け止め方に関する研修に関しては、今後も継続して行っていきたい。子どもたち１人１人に寄り添うことが大事だと思っている。中学校では、学期に１回教育相談があり、先生と生徒が一对一で話す機会を設けている。また、生駒市ではスクールカウンセラーの配置も増やしており、子どもたちが相談しやすい雰囲気作りを心掛けている。

神 澤 委 員：人が困っているときに助けていますかという問いは重要だと思う。自分に力がなくても人を援助することができる。いろんな子がいることを当たり前に思っている。この項目が上がることで全体が底上げされると思うので、一緒に取り組んでいきたい。

伊 藤 委 員：国語が好きかという問いに関して、小学校では全国より５％高い数値であるのにも関わらず、中学校になると１４．５％下がっている。全国的には小学校と中学校の結果にここまで差がない。この部分について、小学校に高い理由があるのか、中学校に低い理由があるのか、原因究明をお願いしたい。

審議結果 【報告のとおり承認】

○日程第４ 議案第２５号 壱分幼稚園の認定こども園整備に関する基本計画の策定について

・ 壱分幼稚園の認定こども園整備に関する基本計画の策定について、大畑幼保こども園課長から説明

＜参照：議案書 p 2 ～ 6、資料 1 ～ 3＞

(質疑)

伊 藤 委 員：法律等の基本ルールの上に生駒市独自でプラスアルファの協定書を作成するという認識で間違いないか。

松 田 次 長：おっしゃる通りである。まず法律に基づいた幼保連携型という基盤がある。その上で、民営でありながら市の思いも運営に反映していただく形を作るために、公私連携型としての内容を盛り込んだ協定書を結びたいと考えている。今提示している内容は案であり、厚生労働省の協定をイメージとしてつけている。

伊 藤 委 員：前提の知識をあまり持てていないのが現状である。「法律等では足りない部分」というのを把握したいので、まずは基本ルールがどのようなものか示してほしい。

松 田 次 長：設置基準等があるのでお示ししたい。幼稚園と保育園の統一カリキュラムもあるので、市独自の部分と基本的な国が示す設置基準をそれぞれ示したい。

吉 尾 委 員：時代ということもあるが、幼保連携型というのは一番望ましい姿であると思う。公立幼稚園としての高いスキルを十分に生かしながら教育保育を進めてほしい。そこをうまく引き継いでいただけるように市としても働きかけてほしい。また、壱分幼稚園に通っている子どもたちや保護者の方が第一である。保護者への説明はあるのか。

大 畑 課 長：基本計画の案がある程度固まっている令和 6 年度に行う予定である。

松 田 次 長：加えて、今年度の 10 月には育友会や地域自治会等から意見聴取を行う予定である。

吉 尾 委 員：市や園の説明会ではなく、地域から又聞きのような形で保護者の方の耳に入ると混乱を招く。育友会を通じてでも、しっかりとした情報共有をお願いしたい。

レイルズ 委員：こども園化にあたって、閑静な住宅街に車の往来が増加する不安等があるかと思うので、地域住民への説明も丁寧をお願いしたい。また、近隣のなばた幼稚園についても子どもの数が減っているので、新しくなった壱分幼稚園にばかり人が流れないように同時に取組を考える必要があると思う。

伊 藤 委 員：20 年ほど前に保護者として、他市で公立保育園の民営化に直面したことがあるので当時の話を共有したい。当時は民営化が主流ではなく、保護者から反対や不安の声が多かったため、夜に保護者と市の職員で集まって何度も話し合いをした。そこで、市の協定に盛り込んでほしい内容や業者の選定についても意見し合った。このように保護者の意見をしっかり反映できたことで、民営化をした後の満足度が非常に高い園となった。これに倣

う必要はないが、保護者との関わりが多いことで成功した例を共有しておく。

原井教育長：皆様からご意見いただきましたように、当事者である子どもを中心に、保護者や近隣住民の方のご理解は不可欠である。今はお示ししている計画で進めていく予定をしているが、もっと個別の説明会が必要だというような要望が出てきた場合には、丁寧に対応しながら進めていきたい。

審議結果 【継続審議】

○日程第5 議案第26号 生駒市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則の制定について

・生駒市立学校給食センター管理規則の一部を改正する規則の制定について、山本教育総務課長から説明

<参照：議案書p7～8、資料4>

（質疑）なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第6 議案第27号 令和5年生駒市議会第4回（9月）定例会提出議案の意見について

・令和5年生駒市議会第4回（9月）定例会提出議案の意見について、鍬田教育こども部長、八重生涯学習部長から説明

<参照：議案書p9～13>

（質疑）なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第7 議案第23号 令和5年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について

・令和5年度生駒市教育委員会の活動の点検及び評価について、鍬田教育こども部長から説明

<参照：議案書p14、別冊2>

（質疑）なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○日程第8 その他

・市内小中学校における熱中症発生状況について、花山教育指導課長から説明

(質疑)

委員：今年のこの猛暑の中、学校現場での熱中症の発生事例が1件だったということは評価できる。先生方や事務局の方が意識して取り組んでいる結果であると思う。私の子どもが大瀬中学校で部活動をしているが、先生方が非常に気を付けている様子を子どもから聞いている。夏休みの暑い時期には練習を止める、外ではなく体育館を活用する、クールダウンの時間を設ける等意識的に取り組んでいただいているようだ。引き続きお願いしたい。一方で、先生によっては意識の差があるとも聞くので周知を徹底していただきたい。

・令和5年9月行事予定について、山本教育総務課長、清水生涯学習課長から説明
(質疑) なし

○日程第7 議案第28号 生駒市長の権限に属する事務の補助執行の協議について
・生駒市長の権限に属する事務の補助執行の協議について、山本教育総務課長から説明
<参照：議案書追加分p 1～2>
(質疑) なし

審議結果 【原案のとおり可決】

○閉会宣告

午前10時59分 閉会